

21世紀の国際貢献考察

国内外のNGO（非政府組織）が参加して十日から始まる「おかやま国際貢献NGOサミット」を前に九日、岡山市内で関係者が記者会見し、サミットに向けた抱負を語った。

18カ国から参加

会見は岡市奉還町の岡山 沖垣達会長やユネスコ本部 国際交流センターであり、（パリ）の職員らが出席。主催する「国際貢献トピア 岡山構想を推進する会」の代表者ら二十一人世紀に対



「おかやま国際貢献NGOサミット」を前に抱負を語る主催の国際貢献トピア岡山構想を推進する会の沖垣達会長（中央）ら

応じた国際貢献や国際交流の在り方を考えたい」と述べた。

サミットは今回で六回目。海外十八カ国二十七人が参加し、「一人間の尊重を総合テーマに、十三日まで四日間にわたり県内各地で交流を進める。十日は玉野市で「環境ネットワーク会議」を開き、岡山市の国際交流センターでは国際医療ボラ

ンティア団体のAMDA（本部・岡山市榴津）がトルコや台湾の大地震での緊急救援活動などについて報告する。

十一日は国際姉妹校会議などのほか、今回初めて岡山市の奉還町商店街と共催で、正午から同商店街を会場にレセプションを開き、海外からの参加者が各国料理の屋台を出して地元住民と交流。

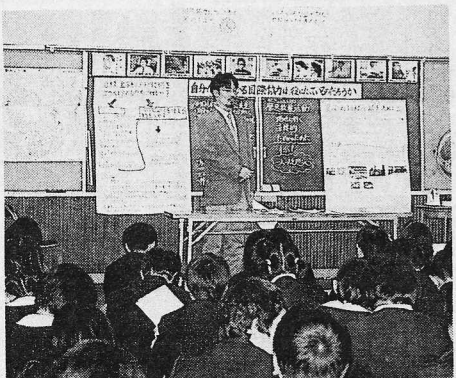
十二日は国内と海外のNGOの意見交換や、宗教者会議などを行い、総括会議で締めくくる。十三日は、津山市の美作女子大でサミット参加のNGOと市民の交流会を開く。

NGO 理解深めて

授業の一環として国際プログラムマネージャーを協力学び、募金活動な 招き、災害緊急救援活動などをやっている平福小（岡山市平福）は九日、国際医療ボランティア団

台湾救援ビデオで

体のAMDA（本部・岡山市榴津）の高松知文が、国際協力活動の理解を深めた。



AMDA関係者を招き、国際協力活動を学ぶ児童。岡山市平福、平福小

台湾大地震直後の現地やけが人を治療している様子をビデオで学習。児童は真剣な表情で見入っていた。

ビデオ上映後、児童は活動内容について話し合い「国際協力の仕方がAMDAは直接的で自分たちは間接的」「他の人のことを思い行動する気持ちは同じ」と活発に意見を出した。

高松さんは「児童が自分でできることを考え行動することは素晴らしい。世界中で起きている事柄に目を向けてほしい」と話していた。

平福小(岡)がAMDA幹部招き学習会

している五、六年生計百二十人が、九月に起きた